

富士河口湖町立 教育センターだより

No.11

令和元年9月10日

文責 渡辺 富美夫



発見! 私たちの郷土 (郷土学習会)

7月26日(金)に町内の小中学校に新転入された先生方や希望者を対象に、郷土学習会を行いました。文化財系の杉本悠樹さんを中心講師にお迎えし、富士河口湖町の文化や歴史、自然について学びました。世界文化遺産の富士山構成資産も巡り、それぞれの資産価値についても詳しく知ることができました。

「富士河口湖町の良さや魅力を知れるいい機会となりました。校外学習等で子どもたちに地元の良さを知ってもらうためにも、私たち教師がしっかり学ばべきだと実感しました。」「富士河口湖町の中だけでも本当に豊かな学習資源を持っているのだなと思いました。自然学習、郷土学習、災害学習、歴史学習など、その活用の道も様々で、こういった資源を活用していくことで子どもたちにとってより生きた学びになると感じました。」など、富士河口湖町のすばらしい財産を今後の教育活動全般に活かしていく工夫をしたいという感想が多数寄せられました。

地域には学習素材がいっぱい



生涯学習館



フィールドセンター



河口浅間神社



溶岩洞穴(コウモリ穴)



富士御室浅間神社



いやしの里(防災教育)

“Let's Try”, 「外国語科, 本格実施に向けて」外国語科研修会

7月30日(火)に町教育センター主催の小学校外国語科研修会を行いました。本町は5,6年の外国語科を先行実施し、2年目を迎えました。町雇用の英語支援スタッフの3人の先生方が現在行っている授業の様子を、学級規模の違いによる指導の工夫も交えて紹介してくださいました。

5,6年の授業パターンが紹介され、子どもたちが歌と身体活動で英会話を繰り返し覚えていく「Dancinglish」や、文字と音の結びつきを覚えていくものなど様々なアクティビティを実習を交えながら学ぶことができました。

「普段外国語の授業で、どのような内容を行なっているのか知ることができて良かったです。様々なゲーム等を取り入れながら、英語に慣れ親しみ、何より自分が主体的に楽しく取り組めることが、とてもすばらしいと思いました。」「毎週、隣に立ち授業をしていただいているのですが、改めて先生方の指導のレベルの高さや必要性を感じた研修でした。特に、たくさんの教材研究をしていただいて、その量の多さに驚きます。来年度から英語も本格実施になるので、自分たち(担任)も教材研究に関わりたいと思いました。他の学校の取組の様子がわかってよかったです。」「ぜひ、来年度以降も英語支援スタッフの先生方の継続した配置を強くお願いしたいです。」などの感想がありました。



また、町教育センターと富士吉田市立教育研修所の共催で、外国語活動研修会も8月7日(水)に行われました。担任役とALT役による模擬授業で、教科書にそってどのような授業を行うかの流れがよくわかる内容でした。